



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月12日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社
 コード番号 6293 URL <http://www.nisseijushi.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 穂積

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 荻原 英俊

TEL 0268-82-3000

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	19,058	2.2	352	56.1	404	52.4	266	51.3
2020年3月期第2四半期	19,477	5.2	803	54.9	848	54.1	547	61.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 55百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 269百万円 (80.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	13.68	13.44
2020年3月期第2四半期	27.39	26.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	61,038	33,178	53.9
2020年3月期	63,255	33,501	52.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 32,870百万円 2020年3月期 33,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		5.00	20.00
2021年3月期		5.00			
2021年3月期(予想)				10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

本日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	2.1	850	22.8	800	29.2	600	7.0	30.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

本日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	22,272,000 株	2020年3月期	22,272,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,768,616 株	2020年3月期	2,574,916 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	19,500,601 株	2020年3月期2Q	19,987,615 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済環境の急激な悪化、および米中貿易摩擦の影響等、不透明な状況が継続しております。わが国経済におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響から企業の設備投資の減少等、厳しい経済環境が継続しております。

当社グループが所属する射出成形機業界におきましては、国内外において新型コロナウイルス感染症の拡大による経済環境の悪化等から厳しい受注環境となり、先行きは不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループは、長期的観点からの成長戦略や業績目標を見据え、2026年3月期を最終年度とする「フューチャーデザイン2026」および第三次中期経営計画に基づき事業展開を推し進めてまいりました。当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主力である射出成形機の販売が世界での新型コロナウイルス感染症の拡大により低調であったこと等から売上高合計は190億5千8百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。製品別売上高につきましては、部品売上高が28億4千8百万円（前年同四半期比5.6%増）、金型等売上高が14億5千万円（同2.5%増）となりましたが、射出成形機売上高が139億4千9百万円（同1.2%減）、周辺機器売上高が8億9百万円（同35.2%減）となりました。

利益面につきましては、欧米での新型コロナウイルス感染症の拡大による営業活動の停滞およびアジア地域での競争激化等により営業利益は3億5千2百万円（前年同四半期比56.1%減）となりました。また経常利益は4億4百万円（前年同四半期比52.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億6千6百万円（同51.3%減）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

① 日本

自動車関連の需要が低調であったことから、売上高（外部売上高）は69億7千2百万円（前年同四半期比39.3%減）、セグメント損失は2千5百万円（前年同四半期実績はセグメント利益6億9千5百万円）となりました。

② 欧米地域

NEGRI BOSSIグループを当社グループに新たに取り込んだことにより、売上高（外部売上高）は71億4千3百万円（前年同四半期比114.7%増）となりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により営業活動が停滞したこと等からセグメント損失は1千2百万円（前年同四半期実績はセグメント利益5千6百万円）となりました。

③ アジア地域

IT関連等の需要が堅調であったことから、売上高（外部売上高）は49億4千2百万円（前年同四半期比5.8%増）となりましたが、価格競争の激化等によりセグメント利益は2億1千1百万円（同25.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債および純資産等の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ22億1千7百万円減少し、610億3千8百万円となりました。主たる増加要因は、現金及び預金の増加10億4百万円であり、主たる減少要因は仕掛品の減少5億1千9百万円ならびに原材料及び貯蔵品の減少4億9千6百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ18億9千3百万円減少し、278億6千万円となりました。主たる増加要因は、長期借入金の増加25億7千6百万円ならびに一年内返済長期借入金の増加3億3千2百万円であり、主たる減少要因は、支払手形及び買掛金の減少55億8千5百万円および短期借入金の減少2億円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億2千3百万円減少し、331億7千8百万円となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、△7億6千7百万円（前年同四半期実績は△20億1千1百万円）となりました。このうち、キャッシュ・インの主たる要因は、税金等調整前四半期純利益4億4百万円および売上債権の減少15億4千4百万円ならびに未収消費税等の減少7億1百万円、たな卸資産の減少5億9千2百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、仕入債務の減少46億2千1百万円でありま

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、△3億4千5百万円（前年同四半期実績は△10億1千5百万円）となりました。このうち、キャッシュ・アウトの主たる要因は、有形固定資産の取得による支出1億8千3百万円および無形固定資産の取得による支出1億6千2百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、22億2千6百万円（前年同四半期実績は△6億7千4百万円）となりました。このうち、キャッシュ・インの主たる要因は長期借入金の借入による収入36億4千3百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、長期借入金の返済による支出7億1千万円および短期借入金の返済による減少3億6千8百万円であります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結累計期間末に比べ4億7千2百万円増加し89億3千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期の業績と今後の見通しを踏まえて修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

今後におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済活動の停滞および米中貿易摩擦の影響等により厳しい経営環境が予想されますが、当社グループといたしましては、5G通信等のデジタルインフラの整備・普及、海洋プラスチック問題に象徴される環境問題等から当社グループおよび当社製品の重要性が増す中で、更なる需要の拡大に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,937	8,941
受取手形及び売掛金	11,518	11,615
電子記録債権	533	403
商品及び製品	7,396	7,456
仕掛品	5,191	4,671
原材料及び貯蔵品	9,174	8,677
未収入金	2,354	976
未収還付法人税等	210	81
その他	1,507	1,116
貸倒引当金	△416	△431
流動資産合計	45,407	43,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,274	6,018
機械装置及び運搬具(純額)	1,686	1,553
土地	4,484	4,473
その他	1,009	964
有形固定資産合計	13,454	13,009
無形固定資産	636	638
投資その他の資産		
投資有価証券	1,423	1,697
その他	2,337	2,185
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	3,757	3,879
固定資産合計	17,848	17,528
資産合計	63,255	61,038
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,030	8,444
短期借入金	2,645	2,444
1年内返済予定の長期借入金	1,114	1,446
引当金	423	299
その他	3,275	4,194
流動負債合計	21,488	16,831
固定負債		
長期借入金	4,345	6,921
退職給付に係る負債	3,366	3,293
その他	553	813
固定負債合計	8,265	11,028
負債合計	29,753	27,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,477	5,480
利益剰余金	23,460	23,629
自己株式	△1,348	△1,538
株主資本合計	32,952	32,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	333	524
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△178	△588
退職給付に係る調整累計額	4	1
その他の包括利益累計額合計	159	△62
新株予約権	221	239
非支配株主持分	167	67
純資産合計	33,501	33,178
負債純資産合計	63,255	61,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	19,477	19,058
売上原価	14,150	13,474
売上総利益	5,326	5,583
販売費及び一般管理費	4,523	5,230
営業利益	803	352
営業外収益		
受取利息	9	18
受取配当金	125	111
その他	116	90
営業外収益合計	251	220
営業外費用		
支払利息	3	91
為替差損	189	48
その他	13	28
営業外費用合計	205	168
経常利益	848	404
税金等調整前四半期純利益	848	404
法人税等	301	228
四半期純利益	547	176
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△90
親会社株主に帰属する四半期純利益	547	266

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	547	176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95	191
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△179	△419
退職給付に係る調整額	△2	△2
その他の包括利益合計	△277	△231
四半期包括利益	269	△55
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	269	44
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△99

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	848	404
減価償却費	490	599
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△45	20
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	△81
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△37	△74
受取利息及び受取配当金	△134	△129
支払利息	3	91
売上債権の増減額 (△は増加)	1,737	1,544
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,935	592
未収消費税等の増減額 (△は増加)	465	701
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,359	△4,621
その他	△639	201
小計	△1,600	△750
利息及び配当金の受取額	134	129
利息の支払額	△3	△91
法人税等の支払額	△542	△55
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,011	△767
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△911	△183
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△104	△162
その他	△0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,015	△345
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△368
長期借入れによる収入	—	3,643
長期借入金の返済による支出	△243	△710
配当金の支払額	△397	△98
自己株式の取得による支出	—	△199
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△33	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△674	2,226
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	△109
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,736	1,004
現金及び現金同等物の期首残高	12,201	7,932
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,464	8,937

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	11,480	3,327	4,669	19,477
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,426	100	4,850	12,377
計	18,907	3,427	9,520	31,855
セグメント利益又は損失 (△)	695	56	285	1,037

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,037
セグメント間取引消去	△234
四半期連結損益計算書の営業利益	803

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	6,972	7,143	4,942	19,058
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,572	138	4,837	12,547
計	14,544	7,281	9,779	31,605
セグメント利益又は損失 (△)	△25	△12	211	174

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	174
セグメント間取引消去	178
四半期連結損益計算書の営業利益	352

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。